



News & Information

東京都千代田区三崎町 2-5-3
鉄建建設株式会社

平成 19 年 11 月 29 日

鉄道設備・鉄道工事・軌道の基礎から応用までを学ぶ実習施設 建設技術総合センター開所式と一般公開実施

鉄建建設株（社長：神田志義）は、鉄道工事安全システムをより高度なものとするために、研究開発を行っていた技術センター（成田市）に電気・信号・通信を備えた複線軌道を設置し、鉄道設備・鉄道工事・軌道の基礎から応用までを学ぶことができる屋外実習施設としました。さらに、過去の工事事故・失敗を風化させることなく、感性を向上させる事故情報展示館を併設し、技術センターを新たに建設技術総合センターとして発足することになりました。発足に先立ち、本日（11月29日）東日本旅客鉄道（株）様を始めとする多数の来賓を招いて開所式を開催した後に、センターを一般公開しました。一般公開では、大手民鉄や軌道工事を施工している建設会社や成田市の皆様を始めとして 700 名を超える方々が見学されました。

建設技術総合センターの複線軌道には、実際と同様の駅ホーム、踏切、分岐器の他にアンダーパス工法の HEP & JES 工法などの代表的な 6 つの施工現場が再現されております。各施工現場を再現したエリアでは、実際に使用する機械などを用いた施工と軌道に対する安全防護を体験することができます。さらに、工事による軌道変状も再現できるようになっており、工事による軌道への影響を目視で確認できるようになっています。このような設備を活用して、鉄建建設では鉄道工事従事者の安全に対する意識向上と技術力の強化をさらに推進していきます。また、将来的には自社の関係者のみでなく、社外の鉄道工事従事者にも建設技術総合センターの活用を積極的に呼びかける予定です。

お問合せ先

〒101-8366
東京都千代田区三崎町二丁目 5 番 3 号
鉄建建設（株）管理本部総務部 金森
TEL 03-3221-2152 FAX 03-3264-2913



【目的】

駅ホームにおける工事の流れ、施工に関する安全管理、施工の留意点及びノウハウを習得

【実演仙】

- ・機知マット作動、非常停止ボタン作動
- ・可動式建築限界定規設置：軌陸ダンプ（下り線）
- ・施工ステップ：説明
- ・折式ホーム、盛土式ホームの特徴：説明
- ・C CO コーナー：説明



【目的】

建築限界、離隔などを視覚的に理解させて、建築限界外作業全般、測量及び線間の杭打設について習得

【実演仙】

- ・ハンドリングマシーンによる鉄骨組立イメージ（写真掲示）
- ・線路防護網、線路防護工：説明



【目的】

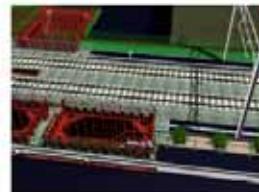
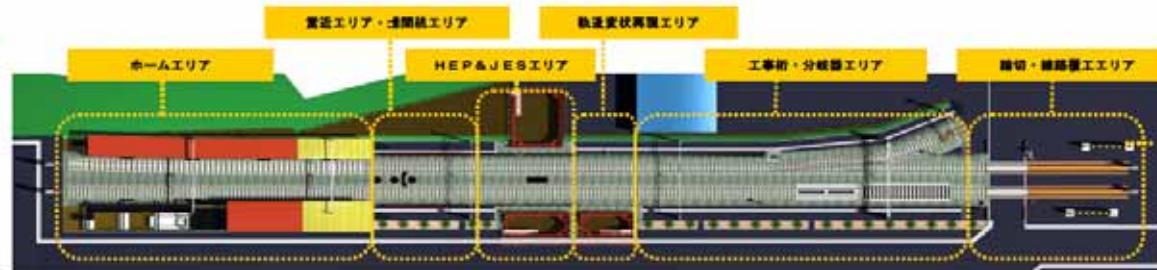
線路下横断工事の重要性の認識と安全確保の習得

【実演仙】

- ・軌道とエレメントの位置関係及び切羽状況の確認（スケルトン）
- ・列停ボタン作動体験
- ・立坑脇に陥没再現（バイスケ設置）
- ・けん引設備（剣立立坑）：説明
- ・調整エレメント案大模型展示：説明
- ・トロ設置（如配区域に留置）：後走防止説明

建設技術総合センター 屋外実習施設による実体験研修

鉄道設備・鉄道工事・軌道の 基礎から応用までを学ぶ



【設備の概要】

線路下に軌道を強制的に変状させる設備、軌道計測設備を設置



【設備の概要】

上り線に PC 工事析、鋼製工事析を設置。
下り線に電気作動の分岐器を設置



【設備の概要】

踏切設備（踏切遮断機、障害物検知装置など実験動）及び線路復工による軌陸車の走行箇所設置

【目的】

軌道変状（薬液注入などによる）の体感と異常時の軌道計測対応の体験

【実演仙】

- ・軌道隆起再現（10mm／ステップ×4ステップ）
- ・軌道計測室見学

【目的】

工事析の挿入、撤去、軌道管理について習得
分岐器付近での工事の留意点の確認

【実演仙】

- ・短絡、地絡、焼結
(隣線と連動⇒スイッチボックスにて手動で信号提示)
- ・分岐器の転換
- ・工事析の種類、特徴：説明

【目的】

踏切近辺での工事の留意点、軌線についての習得

【実演仙】

- ・非常停止ボタン⇒特殊信号発光機点灯
- ・踏切障害物検知装置⇒特殊信号発光機点灯
- ・短絡⇒遮断機（下）
- ・線路復工の特徴：説明